

第6765回

秋季大会

2026年

11月11日(水)

9:00 ~ 16:40 (受付 8:45~)

水戸市民会館

ユードムホール (中ホール)

【主催】 QCサークル関東支部 茨城地区

【後援】 茨城県 / (一財)日本科学技術連盟QCサークル本部
(一社)茨城県経営者協会

出場企業

※順不同・敬称略

企業名	部門
株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス	SGH
株式会社 三五関東	SGH
日産自動車株式会社 いわき工場	SGH
Astemo株式会社 佐和工場	JHS
Astemo株式会社 佐和工場	SGH
株式会社小松製作所 茨城工場	SGH
日野自動車株式会社 古河工場	SGH
アストラム株式会社 茨城工場	SGH
株式会社スミハツ	SGH
サーモフィッシャーサイエンティフィック LTJ株式会社 茨城事業所	SGH
株式会社日立ハイテク 那珂地区	SGH
日立建機 株式会社	SGH

SGH…製造・技術・品証 / JHS…事務・販売・サービス・医療

大会概要

会場で聴講しよう！

「水戸市民会館」でサークルの皆さんの熱のこもったプレゼンテーションをお届けいたします。QCサークル誌の活用に関する特別講演も併せてお楽しみいただけます。

活動のレベルアップに！

他社の活動を参考に「もっと活動レベルを上げたい」「活動の成果を高めたい」などの活動のお悩みを解決するヒントをお届けいたします。

参加対象はどなたでも！

サークルリーダー・メンバーの方々だけではなく、経営者・管理者・スタッフ・推進事務局の方々など、たくさんのご参加をお待ちしております。

◆参加費 (お一人様 / 税込 / 弁当・要旨集付)

会 員

5,500円

非会員

6,000円

募集定員：250名

◆申込方法

[第6765回 秋季大会 聴講申し込みフォーム](#)



必要事項を入力の上、大会事務局までお申込みください。

【申込期限】 10月16日(金)

お問い合わせ

【大会事務局】株式会社日立ビルシステム 秋山

TEL：090-8379-5741

E-mail：kasumi.akiyama.zw@hitachi.com

QCサークル関東支部 茨城地区ホームページ <https://qc-members.jp/kanto/ibaraki>





大会プログラム



時間	会社名/サークル名		テーマ名	部門
8:45～9:00	開場・受付			
9:00～9:15	開会挨拶 ・ 発表要領説明			
9:15～9:37	発表No1	株式会社日立ハイテク 那珂地区 LSIQサークル	標準化でつくる“不良流出ゼロ”品質	SGH
9:37～9:59	発表No2	株式会社小松製作所 茨城工場 GOGOサークル	溶接ロボットトーチケーブル冷却水流量低下の未然防止に挑戦 ～Regeneration”自動回復”システムの導入～	SGH
9:59～10:21	発表No3	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス YAMATO撫子グループ	反応セル判定基準の明確化による作業効率の向上	SGH
10:21～10:35	休憩			
10:35～10:57	発表No4	Astemo株式会社 佐和工場 JSDサークル	インジェクタ試験工程におけるフィルタ圧入不良の撲滅	SGH
10:57～11:19	発表No5	アストラム株式会社 茨城工場 たけのこサークル	サインベン芯 成形不良の低減	SGH
11:19～11:41	発表No6	株式会社スミハツ バードハンターサークル	板ばね 塗装ハンガーコンベアワーク落下削減	SGH
11:41～12:21	昼食			
12:21～12:43	発表No7	日立建機株式会社 enjoy♪グループ	パレット品における ラップ巻き作業を 低減しよう	SGH
12:43～13:05	発表No8	株式会社 三五関東 勝たんサークル	筋トレはジムでやってくれ！ ～人の力に頼らない重筋作業の低減～	SGH
13:05～13:19	休憩			
13:19～13:41	発表No9	日野自動車株式会社 古河工場 古河ーズサークル	サブ6工程における呼び出し件数の低減 ～多様な人材に対応出来る工程造り～	SGH
13:41～14:03	発表No10	サーモフィッシャーサイエンティフィック LTJ株式会社 茨城事業所 GOLAZOサークル	ベーターピュア ガスケット溶着作業の負担軽減	SGH
14:06～14:17	休憩			
14:17～14:39	発表No11	日産自動車株式会社 いわき工場 マイクロサークル	VR35エンジンオイル穴位置不良廃却の撲滅	SGH
14:39～15:01	発表No12	Astemo株式会社 佐和工場 クロス・イノベーションサークル	ベテランと新人の主要業務における所要時間差の撲滅 ～1人のプロから全員プロ化へ～	JHS
15:01～15:15	茨城県議会議長賞の投票 ・ 休憩			
15:15～16:05	『QCサークル』誌の魅力と活用法 【講師】須加尾 政一 氏			
16:05～16:35	審査結果発表 ・ 表彰式			
16:35～16:40	閉会挨拶			

★発表1件22分（発表15分、質疑2分、講評3分、準備2分）

★SGH： 製造・技術・品証 JHS： 事務・販売・サービス(含む医療・福祉)

※プログラムは変更になる場合があります。
ご承知おきください。

会場アクセス [※詳しくはここをクリック](#)



【J R水戸駅から】

■路線バス・・・北口（4～7番のりば）から約5分の「泉町一丁目」下車、徒歩1分



■徒 歩・・・水戸駅北口から約20分

【車で来場の場合】

■近隣・周辺の駐車場をご利用下さい。近隣の駐車場は有料です。

- ・五軒町立体駐車場（水戸芸術館東側）283台
- ・五軒町地下駐車場（水戸芸術館地下）217台
- ・周辺の有料駐車場（500m圏内に約4,500台）



／ここがいいね！／

聴講のポイン ト



No	会社名/サークル名	テーマ名	部門
発表 No.1	株式会社日立ハイテク 那珂地区 LSIQサークル	標準化でつくる“不良流出ゼロ”品質	SGH
	👍 発表の見どころは、経験が浅い方々の素朴な疑問を起点に、ベテランが経験的に培ってきた暗黙知を「誰もが実践できる標準」へ変えた点です。作業指導書、チェックシート、確認作業の鉄則を通じて、作業者ごとの判断のばらつきを抑制しました。その結果、後工程への不良流出と場外不良ゼロを達成し、品質レベルも2.82点から4.12点へ向上しました。世代を越えて知恵を結集し、不良を未然に防ぐ職場へ成長した活動です。		
発表 No.2	株式会社小松製作所 茨城工場 GOGOサークル	溶接ロボットトーチケーブル冷却水流量低下の未然防止に挑戦 ～Regeneration”自動回復”システムの導入～	SGH
	👍 事後保全から予防・予知保全へと活動を進化させてきたGOGOサークルが溶接ロボットの冷却水流量低下に対し、銅線が詰まるプロセスを解析し、逆流洗浄による「Regeneration（自動回復）システム」を自主制作。新QCリーダー鈴木君を中心に問題解決型と未然防止型QCストーリーを組わせて活動に挑戦し、溶接設備の安定稼働とサークル全体のQCレベル向上を実現した事例です。		
発表 No.3	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス YAMATO撫子グループ	反応セル判定基準の明確化による作業効率の向上	SGH
	👍 本発表は、反応セルの生産量が前年度比47%増加に対応するために実施した改善活動である。増産に対応するためには10名分の作業量を消化する能力が必要であった。そこで、要因を分析し、作業指導書の改訂やきょう雑物測定図表の導入などの対策を実施した。その結果、新人教育期間を3か月から2か月へ短縮することができ、計画どおり増産対応を実現した。		
発表 No.4	Astemo株式会社 佐和工場 JSDサークル	インジェクタ試験工程におけるフィルタ圧入不良の撲滅	SGH
	👍 大きさ・重さが米粒数粒程度の部品に何が起きているのかを、測定や観察しながら解き明かそうとしますが、糸口が見つかりません。「試験結果に手掛かりがあるかも」の声から他部署の協力も得て、部品が入りにくくなっていることを掴みます。要因解析では断面イメージから「傾き」を見つけ出しますが、現物での確認にも興味を持ったサークルは、「覚えるから理解するへ」の合言葉にも後押しされながら現実を確かめます。		
発表 No.5	アストラム株式会社 茨城工場 たけのこサークル	サインペン芯 成形不良の低減	SGH
	👍 今回の事例は、ロングセラー製品「サインペン」を支える製造機の工程内不良低減に挑戦した内容となっております。2021年度を境に増加した不良率を発見した課長からの依頼を、若手二人、ベテラン一人の少数精鋭で実施。少数ゆえ、アイデア等の狭さを感じながらも現場へ度々足を運ぶ行動力でカバーし、成長を感じられる結果となりました。悪戦苦闘しながらも改善を行い、目標達成後も立ち止まらず前進続けたメンバーをご覧ください！		
発表 No.6	株式会社スミハツ バードハンターサークル	板ばね 塗装ハンガーコンベアワーク落下削減	SGH
	👍 今回のテーマは係だけに収まらず部署内でも大きな問題として取り上げられております。品質、生産性ともに影響があるため、早急にサークル活動に取り入れ3ヵ月という短い期間で他部署にも協力をしてもらいながら、トライ＆エラーを繰り返し、サークルメンバー全員が一丸となって活動を行いました。		





／ここがいいね！／

聴講のポイント



No	会社名/サークル名	テーマ名	部門
発表 No.7	日立建機株式会社 enjoy♪グループ	パレット品における ラップ巻き作業を 低減しよう	SGH
	👍 サプライヤの改善事例発表会に参加した時の楽しさを忘れられず、「みんなで楽しみながら成長する」をスローガンに全国大会出場を目指す。自分たちの強み・弱みを理解し成長計画をたて性格診断や勉強会をたっぷり1カ月実施。部材の固縛で行っているラップ巻き作業の不具合を明らかにして「ラップ・ゼロ」を目指す重量物の壁にぶつかってしまう。サポート・支援チームの協力を得ながら、全員参加で乗り切った改善事例です。		
発表 No.8	株式会社 三五関東 勝たんサークル	筋トレはジムでやってくれ！ ～人の力に頼らない重筋作業の低減～	SGH
	👍 今回の活動では、課方針にも掲げた『人にやさしい生産ラインの実現』、重筋作業によるサークル員の身体的負担がある困り事に着目し、「からくり」を活用した改善に取り組みました！知恵と工夫で設備を大きく変えずに負担を軽減した点が見どころです！改善前後の作業性や効果にも着目して下さい！！		
発表 No.9	日野自動車株式会社 古河工場 古河ーズサークル	サ ^g 6工程における呼び出し件数の低減 ～多様な人財に対応出来る工程造り～	SGH
	👍 製造現場に多様性が求められる昨今において、背の低い/高い、力が弱い/強いに注目した事例です。全員が気持ちよく作業できるためにはどうしたらよいのか考え作業範囲に汎用性をもたせる改善ができました。自職場の作業をヒントに、力を数値化したことで、目標に向かい活動する事が出来ました。		
発表 No.10	サーモフィッシャーサイエンティフィック LTJ株式会社 茨城事業所 GOLAZOサークル	ベーターピュア ガスケット溶着作業の負担軽減	SGH
	👍 ベーターピュアのカスケット溶着時のプレートを外す作業での負担について、感覚ではなく4Mで要因を整理し、真因に近づくために一つ一つ検証しました。手が痛くなる最も大きな原因としてプレートを外す作業が一日1000回実施しており、一回にプレートを外す負担は小さくても、繰り返し作業することによって負担が蓄積されている事が主な原因です。だが、この作業はなくせない為、作業方法と溶着条件に改善の余地があると判断し改善を進めた。		
発表 No.11	日産自動車株式会社 いわき工場 マイクロサークル	VR35エンジンオイル穴位置不良廃却の撲滅	SGH
	👍 マイクロサークル員構成は、若手から大ベテランまで在籍しておりますが、中途入社の方のサークル員が多いサークルです。そのため中堅層のレベルアップが急務であり、日々活動しております。今回のテーマでは中堅層中心に鑄造製造現場の困りごとである、仕損低減を品質保証の立場から改善するため、技術Gr,製造Grと連携し仕損ゼロを達成した事例です。		
発表 No.12	Astemo株式会社 佐和工場 クロス・イノベーションサークル	ベテランと新人の主要業務における所要時間差の撲滅 ～1人のプロから全員プロ化へ～	JHS
	👍 新人リーダー関を中心に、IE推進課とDX推進課の2課合同サークルが「1人じゃ出来ない、みんなで変える！」を合言葉として活動。ステップリーダー制により全員が役割を担い、ベテランと新人の主要業務の所要時間差撲滅に挑戦しました。データ分析と現場観察を重ね、属人的なノウハウをひな形・手順書・業務フロー図としてオモテ化。新人の独り立ちとベテランの負担軽減を実現し、メンバー全員が成長した活動です。		





『QCサークル』誌の魅力と活用法

講 師

すがお まさかず

須加尾 政一 氏



経 歴

- 1983年 東京農工大学大学院 工学研究科修士課程修了
1983年 小西六写真工業株式会社（現 コニカミノルタ株式会社）入社
品質管理・改善活動の推進に長年従事
2013年 コニカミノルタを退職
現在 一般財団法人 日本科学技術連盟 嘱託、Q&SGA研究所 代表
★日本品質管理学会 品質管理推進功労賞受賞(2017年11月)
▪ QCサークル本部認定指導員・認定講師
▪ 『QCサークル』誌 編集副委員長
▪ QCサークルセミナー運営委員会委員
▪ 日科技連ベーシックコース講師
『すぐわかる問題解決法』（2000年）をはじめQC検定3級、
QCサークルに関する9冊の本を執筆・出版

講 演 概 要

今から64年前にQCサークルが誕生しました。1962年（昭和37年）4月に日本科学技術連盟から『現場とQC』誌（現在の『QCサークル』誌）が発刊され、その中で現場第一線で働いている方々に向けて、「職場で働く人々の品質意識を高め、能力をみがくことによって、品質管理の実を上げよう」と呼びかけたのがはじまりです。

60年以上も続いているQCサークル活動の魅力とは何なのか、QCサークル活動を実施することによって得られる効果はどのようなものがあるのか、歴史を紐解きながらお話したいと思います。

また、『QCサークル』誌をどのように活用していけばいいのか、具体的な事例もいくつか紹介しながら話を進め、結びではこれからの『QCサークル』誌についても触れたいと思います。

